

浜中町学校適正規模・適正配置基本計画 概要版

1 基本計画策定にあたって

全国的に少子化が進む中、本町においても児童生徒数の減少による小・中学校の小規模化が進行しており、児童生徒の人間関係の固定化や多様な価値観とのふれあいの減少、学級数の減少に伴う教職員数の減少など、教育環境への様々な課題が指摘されています。

浜中町教育委員会では、教育を取り巻く状況の変化を踏まえ、子どもたちにとって望ましい教育環境を整備する観点から、浜中町学校適正規模・適正配置検討委員会へ「浜中町学校適正規模・適正配置基本計画の策定に係る基本的な考え方」「浜中町立小中学校の適正化に向けた具体的な方策」の2点について令和5年7月に諮問し、令和6年3月に答申を受けました。

この答申を受け、浜中町学校適正規模・適正配置についての基本計画を策定しました。

2 町立小・中学校の状況と課題

本町の児童生徒数は、昭和37年の2,923人をピークに減少の一途をたどり、令和6年5月1日現在、354人となっており、今後も引き続き児童生徒の減少が見込まれます。

小・中学校が小規模になると、学校運営や教育活動に様々な影響を及ぼします。

本町における学校の適正規模・適正配置を検討する上では、小規模校のメリットを最大化しデメリットを最小化する方策が必要となります。



3 学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方

(1) 学校適正規模の基本的な考え方

平成17年12月16日浜中町教育委員会決定の「浜中町立小中学校の適正配置に係る基本方針」を基本的な考え方として踏襲します。

児童数が16人以下となり教頭配置のできない小学校、複式学級を組む中学校から、統合に向けた協議を開始します。

(2) 学校適正配置の基本的な考え方

学校施設の整備や既存校舎を生かした教室数の確保などを考慮し、それでもなお、適正な配置が図られない場合は、校舎の新設についても検討していきます。

通学距離、通学時間は右表のとおり、国の示す基準を基本とします。

散布小中学校を除く小・中学校では、遠距離通学等となる児童生徒に対してスクールバスを運行します。

(3) 適正規模・適正配置の実施にあたって考慮すべき事項

町内小中学校の適正規模・適正配置を進めるにあたり、以下の6つの考慮すべき事項をまとめました。

- ①「はまなか」らしい教育環境を整備するため、地域資源を活かした「総合的な学習」を中心とする教育課程の編成や体系化など、地域と一体となった「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- ②小規模校のメリットを最大化し、デメリットを最小化する方策を検討する。
- ③学校統合を進めるにあたり、浜中町におけるメリットとデメリットについて検討する。
- ④小・中学校が目指す子ども像の認識を共有するとともに9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を目指す小中一貫教育を推進する。
- ⑤学校の適正配置を検討する上では、老朽化や津波防災対策を含め、児童生徒の安心・安全が確保されるよう留意する。
- ⑥今後の学校の在り方については、町づくりにも大きな影響を及ぼすことから地域の問題として捉え、本町が目指す学校教育の方向性等を丁寧に説明し、保護者等や地域住民の理解と協力を得ながら実施する。

小学校	児童数が16人以下
中学校	複式学級を組む学校

	通学距離	通学時間
小学校	概ね 4 km以内	概ね 1時間以内
中学校	概ね 6 km以内	概ね 1時間以内

4 適正規模・適正配置の手法

(1) 学校統合

学校の小規模化がさらに進行し適正化が必要な場合、保護者等や地域住民の要望や意見を尊重しながら行うこととします。

(2) 小中一貫教育の導入

小中一貫教育については、教育効果が高まる有用な施策として、学校配置や施設の状況、必要規模等を踏まえ、小中一貫型小・中学校や義務教育学校の導入検討を進めることとします。

5 適正配置計画

各小・中学校の状況を個別・地区別に分析した結果、適正規模・適正配置の方向性について、次の通りとします。

(1) 霧多布地区

霧多布中学校校舎の耐用年数が残り10年となり老朽化が著しい状況です。また、津波避難のための高台も遠い立地にあります。この喫緊の課題を解決するため、当該校を霧多布小学校内に併設します。その後、小中一貫型小・中学校や義務教育学校の導入検討を保護者等や地域住民との共通理解を踏まえ、進めます。

	R6	R7	R8	R9	R10
霧多布小学校	併設の検討 地域説明	実施設計	改修工事	改修工事	併設開始
霧多布中学校	併設の検討 地域説明	移転準備	移転準備	移転準備	併設開始

(2) 散布地区

既に小中併置校であることから単独で学校を維持しつつ、小中一貫型小・中学校や義務教育学校の導入検討を保護者等や地域住民との共通理解を踏まえ、他校に先駆けて進めます。

ただし、学校の小規模化がさらに進行し適正化が必要な場合は、保護者等や地域住民の要望や意見を尊重しながら学校適正規模・適正配置を図る手立てを再検討します。

	R6	R7	R8	R9～
散布小中学校	地域説明	一貫校への 移行準備	一貫校への 移行準備	一貫校へ移行

(3) 浜中地区

小・中学校が同じ敷地にあることから、小中一貫型小・中学校の導入を地域や保護者等との共通理解を踏まえ検討するとともに、これまでの学校統合により小学校の教室が手狭なことや教室数が不足する状況にあるので、増改築を検討する際は、小・中学校の併設も検討します。

ただし、学校の小規模化がさらに進行し適正化が必要な場合は、保護者等や地域住民の要望や意見を尊重しながら学校適正規模・適正配置を図る手立てを再検討します。

	R6	R7～
浜中小学校	地域説明	小中一貫校導入への検討
浜中中学校	地域説明	小中一貫校導入への検討

(4) 茶内地区

小・中学校が同じ敷地にあることから、小中一貫型小・中学校の導入を地域や保護者等との共通理解を踏まえ検討するとともに、これまでの学校統合により小学校の教室が手狭なことや教室数が不足する状況にあるので、増改築を検討する際は、小・中学校の併設も検討します。

ただし、学校の小規模化がさらに進行し適正化が必要な場合は、保護者等や地域住民の要望や意見を尊重しながら学校適正規模・適正配置を図る手立てを再検討します。

	R6	R7～
茶内小学校	地域説明	小中一貫校導入への検討
茶内中学校	地域説明	小中一貫校導入への検討